

家保通信

Vol. 37 No. 2 5月号
東京都家畜保健衛生所



令和6年4月25日

かほクイズ

国内で牛への使用が承認されているホスホマイシンは何種類？

- ① 1
- ② 2
- ③ 3

答えは裏面

米国で乳牛の高病原性鳥インフルエンザの感染を確認！

米国において、乳量の減少や食欲低下等がみられた乳牛で、高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）ウイルス（H5N1亜型）の感染が複数確認（4/2時点で5州12農場）されています。農場内で死亡野鳥が確認されている事例もあり、野鳥が感染源とみられています。感染した牛は回復し、死亡は報告されていません。

HPAIウイルス（H5N1亜型）への感染が推定される乳牛と接触のあった人の感染事例（結膜炎症状を示した後に回復傾向）も報告されていますが、現在のところ、人を含むほ乳類への感染性を高めるウイルスの遺伝子変異等は確認されていません。感染動物と直接接触した人が感染する可能性はあるものの、一般市民の健康リスクは依然として低いとのことです。

国内では牛へのHPAIウイルスの感染は報告されていませんが、以下の点についてご注意ください。

①飼養する牛に乳量の減少、食欲低下等がみられた場合には、群から隔離して管理し、獣医師又は家畜保健衛生所に相談すること。

②飼養衛生管理基準に基づく基本的な衛生管理を徹底すること

☑給餌・給水設備、飼料の保管場所への野鳥の排せつ物等の混入防止

☑牛を導入した場合、異状が無いことを確認するまでは隔離する

国内では、依然としてHPAIの発生リスクの高い状況が続いています。直近では、家きんでは3/12に広島県（全国10事例目）、野鳥では4/11に北海道（全国151事例目）で感染が確認されています。引き続き、飼養衛生管理基準の遵守の徹底をお願いします。



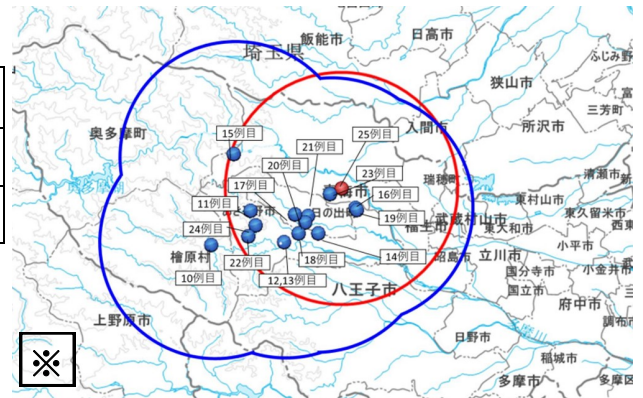
牛の定期検査のお知らせ

今年度のヨーネ病定期検査の実施区域は、清瀬市、練馬区、府中市、東久留米市、武蔵村山市、大島町です。5月から6月に実施予定（大島町除く）です。対象の方には別途通知を送付しますのでご確認ください。なお、他県からの牛の導入や、預託牧場から牛の帰還があった場合には、随時ヨーネ病の検査が必要ですので、当所までご連絡をお願いします。

野生イノシシの豚熱陽性が続いています！

都内では昨年8月以降、野生イノシシで豚熱の感染事例が続いています。また、神奈川県相模原市緑区三井で3/30に捕獲された野生イノシシでも陽性が確認されました。農場への豚熱侵入リスクが高い状況が続いています。飼養衛生管理基準の遵守や適切なワクチン接種をお願いします。

都内野生イノシシ豚熱陽性事例（令和6年3月13日以降）			
例数	回収場所	発見日	発見時
25	青梅市長淵	令和6年3月13日	捕獲



※ 赤丸：今回発見場所
赤丸円：発見場所から半径10km圏内
青丸：10例目（令和5年8月）以降発見場所
青丸円：10例目（令和5年8月）以降発見場所から半径10km圏内

ホスホマイシンを使用した牛の牛肉はEUへの輸出が不可になります

EUでの規則変更に伴い、令和8年9月3日以降、出生からと畜までの間にホスホマイシンが投与された牛に由来する牛肉は、EU及びノルウェー（以下EU等）に輸出できなくなります。

ホスホマイシンを含む抗生物質や医薬品を使用した際は、使用記録をとり保管願います。ホスホマイシンは要指示医薬品です。処方した獣医師も記録の管理をお願いします。処方された飼養者は、自己判断で使用しないようお願いします。牛関係者には別添資料を同封していますのでご確認ください。なお、右図の通り、ホスホマイシンに代わるワクチンや抗菌剤が存在します。

1. ワクチン

	バスタツレラ性肺炎	大腸菌性下痢症	サルモネラ症
牛	1 製剤 （“京都微研”キャトルバクト3）	3 製剤 （“京都微研”牛下痢5種混合不活化ワクチン、同II、牛用大腸菌ワクチン）	2 製剤 （牛サルモネラ2価ワクチン（科飼研）、ポビリス（MSD））

2. 代替抗菌剤

① バスタツレラ性肺炎：19成分		
アモキシシリン	アンピシリン	ベンジルペニシリンプロカイン
セファゾリン	セフキノム	セフチオフル
カナマイシン	ジヒドロストレプトマイシン	ガミスロマイシン
チルミコシン	ツラスロマイシン	オキシテトラサイクリン
クロルテトラサイクリン	エンロフロキサシン	オルビフロキサシン
マルボフロキサシン	ダノフロキサシン	オキシソリン酸
フロルフェニコール		
② 大腸菌性下痢症：18成分		
アモキシシリン	アンピシリン	エンロフロキサシン
オキシテトラサイクリン	オキシソリン酸	オルビフロキサシン
カナマイシン	クロルテトラサイクリン	ゲンタマイシン
コリスチン	ストレプトマイシン	セファゾリン
セファロニウム	セフチオフルナトリウム	セフロキシムナトリウム
ピコザマイシン	マルボフロキサシン	ジヒドロストレプトマイシン
③ サルモネラ症：11成分		
アンピシリン	オキシテトラサイクリン	オキシソリン酸
カナマイシン	クロルテトラサイクリン	ゲンタマイシン
コリスチン	ストレプトマイシン	セファゾリン
ジヒドロストレプトマイシン	ピコザマイシン	

クイズの答え：③
国内で牛への使用が承認されているホスホマイシン製剤は3種類（動物用ホスミンS（静注用）、ホスホマイシン注「フジタ」、ホスミン細粒40%）です。主に子牛の肺炎・下痢症の治療薬として使用されています。EUは薬剤耐性菌対策を強化するため、EU域内へ輸入される畜水産物に対し、生産時の抗菌性物質使用を制限する規則を制定しています。日本では、ホスホマイシンが本規則による規制の対象となっています。

発行日 令和6年4月25日

編集発行 東京都家畜保健衛生所

<http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/nourin/shoku/animal/kaho/>

〒190-0182 東京都西多摩郡日の出町
大字平井2759

TEL : 042-588-7171

携帯 : 090-6941-4315(緊急用)

